

【第2問】 連結財務諸表の作成

次に示した【資料】にもとづいて、答案用紙の連結損益計算書および連結貸借対照表を作成しなさい。なお当期は×8年4月1日から×9年3月31日までの1年間である。

【資料】

1. P社は、×7年3月31日にS社の発行済株式総数(5,000株)の60%の株式を180,000円で取得して支配を獲得し、それ以降S社を連結子会社として連結財務諸表を作成している。なお、P社のS社に対する持分の変動はない。のれんは発生年度の翌年度から10年にわたり定額法により償却を行っている。
2. 支配獲得時(×7年3月31日)におけるS社の純資産項目は、資本金162,000円、資本剰余金43,200円、および利益剰余金10,800円であった。
3. 前期(×7年4月1日から×8年3月31日まで)において、S社は当期純利益43,200円を計上したが、配当は行っていない。
4. P社およびS社の当期末の個別貸借対照表および当期の個別損益計算書は、次のとおりである。

貸借対照表
×9年3月31日 (単位：円)

資 産	P 社	S 社	負債・純資産	P 社	S 社
現金預金	649,800	302,600	支払手形	216,000	97,200
売掛金	180,000	108,000	買掛金	86,400	91,800
貸倒引当金	△ 1,800	△ 1,080	固定負債	99,000	66,600
商 品	252,000	112,480	資 本 金	810,000	162,000
固定資産	135,000	63,000	資本剰余金	54,000	43,200
S社株式	180,000	—	利益剰余金	129,600	124,200
合 計	1,395,000	585,000	合 計	1,395,000	585,000

損益計算書

	P 社	S 社
自×8年4月1日 至×9年3月31日 (単位：円)		
売上高	1,296,000	972,000
売上原価	972,000	777,600
売上総利益	324,000	194,400
販売費及び一般管理費	216,000	118,800
営業利益	108,000	75,600
営業外収益	75,600	54,000
営業外費用	64,800	32,400
当期純利益	118,800	97,200

5. 当期において、S社は利益剰余金を財源として27,000円の配当を行っている。
6. 当期より、S社はP社に対して商品を販売しており、その売上高は356,400円である。
7. S社は、売掛金の期末残高108,000円に対して1%の貸倒引当金を設定しており、売掛金の期末残高のうち54,000円がP社に対するものである。
8. 当期末において、P社が保有する商品のうち、S社から仕入れた金額は21,600円である。S社がP社に対して販売する商品の売上総利益率は25%であった。
9. P社は、S社に対して当期首に資金45,000円の貸付け（貸付期間：5年）を行っており、利率は年2%である。当期末に利息の受け払いが現金で行われている。ただし、P社は、この貸付けに対して貸倒引当金を設定していない。

【答案用紙】

連結損益計算書

自×8年4月1日 至×9年3月31日 (単位：円)

I 売上高	()
II 売上原価	()
売上総利益	()
III 販売費及び一般管理費	()
営業利益	()
営業外収益	()
営業外費用	()
当期純利益	()
非支配株主に帰属する当期純利益	()
親会社株主に帰属する当期純利益	()

連結貸借対照表

×9年3月31日

(単位：円)

資産	金額	負債・純資産	金額
現金預金	()	支払手形	()
売掛金	()	買掛金	()
貸倒引当金	(△)	固定負債	()
商品	()	資本金	()
固定資産	()	資本剰余金	()
のれん	()	利益剰余金	()
		非支配株主持分	()
合計	()	合計	()

【問題演習用PDFデータのご案内】

本書に書き込まずに問題演習を行えるよう、この問題のPDFデータの特設サイトにて無料配布しています。

下記のURLまたは右のQRコードよりアクセスして、ご活用下さい。

<http://www.ns-2.jp/dareren/>

※印刷費用はお客様のご負担となります。

